

## 第22回越谷市消防音楽隊定期演奏会開催！

～市民に愛される音楽隊を目指して～

2月16日、サンシティ大ホールで越谷市消防音楽隊の定期演奏会が開催され、多くの市内外の方がその演奏に聞き入っていました。当日は時節柄、マスク着用で鑑賞となりましたが、クラシックから演歌や子どもたちもおなじみの曲まで、素晴らしい「音の架け橋」に感激したひとときでした。

音楽隊の皆さんは、市民まつりや産業フェスタなどのイベント等で、年間約20回の演奏を実施し、音楽を通して市民の防火・防災意識の高揚を図っています。今後の消防音楽隊の活動に期待し、私も防災・防火活動にいっそう力を入れて活動してまいりたいと思います。



消防音楽隊定期演奏会

## 「ガーヤちゃんの蔵屋敷」で「東北フェア」 東日本大震災の一日も早い復興を願って!!

3月7日から3月22日まで越谷駅東口高架下の「ガーヤちゃんの蔵屋敷」で東北フェアが開催されました。私が、昨年12月の一般質問で提案をした「つながる」取り組みが、早速実現しました。(3ページ的一般質問参照)

フェア開催にあたっては、被災地支援のための越谷市役所からの派遣職員の方々や関係各位の多大なご協力をいただき、敬意と感謝を申し上げます。

店内の東北フェアコーナーには、大船渡市、東松島市、二本松市などの東北各地の特産品等が所狭しと並べられ、フェアのPR時間等が少なかったにも関わらず、大変盛況でした。東松島のソックスモンキー「おのく

私の提案が実現!!



※「おのくん」とは

東日本大震災で被災された東松島市「小野駅前応急仮設住宅」の人々が東松島に来てほしいと願った手作りの人形。「おのくん」を購入し里親になることで、支援に繋がります。

ん」も店頭を飾り、私も特産品とともに購入し、微力ながら被災地の応援をさせていただきました。

また、新たな名物づくりの提案を受けて、「地場野菜イタリアン カポナータ」さんでは越谷市の小松菜と大船渡市のサンマのコラボメニューを期間限定(3月8日～28日)で提供しました。

今回は急なことで、名取市の参加が間に合わなかったようで、次回に期待をしたいと思います。

私は、今後も引き続き被災地復興応援に力を入れてまいりたいと存じます。



▲カポナータさんの新メニュー(期間限定)  
「越谷産小松菜と大船渡産さんまのミートソース」

市議会議員

ごとう孝江

連絡先

### ●自宅

〒343-0806 越谷市宮本町 1-66-4 越谷ニューライフ 205号  
TEL・FAX 048-966-5088

### ●越ヶ谷連絡所

〒343-0813 越谷市越ヶ谷 3-3-26  
TEL・FAX 048-964-3243

ホームページのアドレスは  
<http://takae510.jp>



越谷市議会議員 越谷市宮本町 1-66-4 越谷ニューライフ 205号

# ごとう孝江

活動報告 2020年春 ● 第72号

めぐもりある越谷を  
ついでます!!



観測史上最も早く東京の桜の開花が宣言され、春本番を迎えましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年末に初めて確認されたと言われている「新型コロナウイルス感染症」は、WHOの「パンデミック」表明もされ、世界中がその拡大防止に努めています。

「新型コロナウイルス感染症」の拡大防止策として、全国の小・中・高校の臨時休業(休校)、公共施設の臨時休館や一部の利用停止、さまざまなイベントや会合等の中止や延期等々の取り組みがなされ、私たちの生活をはじめ社会・経済にも大きな影響が続出しています。

去る、2月28日には、私の所属会派「立憲・市民ネット」では「新型コロナウイルス感染拡大防止に係る学校の休業要請について」休業(休校)に伴う諸問題等への対策を十分に協議し、保護者等に配慮する旨の要望書を市長・教育長に提出しました。姿の見えないウイルスとの闘いは、いつまで続くのか予測ができませんが、一日も早い終息を願わずにはられません。人混みを避け、「マスク」



「新型コロナウイルス感染拡大防止に係る休業要請について」の要望書提出

「手洗い」「うがい」を励行し、栄養バランスの良い食事と睡眠で免疫力を上げて、この危機を乗り切ることが必要です。

私は、今後ともこの感染症対策をはじめ、越谷市の諸課題に積極的に取り組んでまいりますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

## 越谷市第5次総合振興計画 特別委員会委員に選任

3月定例議会において10名で構成する「第5次総合振興計画特別委員会」が設置され、私、ごとう孝江は委員に選任されました。

特別委員会では、令和3年度から10年間の越谷市の将来像・まちづくりの基本的な方向や取り組む事業などを定める市の最高上位計画を審議します。私は、委員として皆様の声を活かして、協議・審議に全力を傾注してまいります。

▼ガーヤちゃんの蔵屋敷の東北フェア(3～4ページ参照)



# 議会報告

## 3月定例議会

令和2年3月定例議会は2月21日に開会し、市長提出議案39件が上程され、すべて承認、同意、可決されて3月18日に閉会しました。

### 主な議案

○越谷市固定資産評価審査委員会委員の選任について 富永 保氏

○橋梁耐震整備工事（千代田橋）請負契約の一部変更  
止水のための鋼矢板の設置等の施工に期間を要し、履行期限の変更。



○橋梁耐震整備工事（間久里新田橋）請負契約の一部変更  
仮栈橋の設置及び橋脚補強工の施工方法変更に伴い、契約金額と履行期限の変更。



○越谷市動物愛護管理担当職員設置条例制定について  
中核市に動物愛護管理担当職員を置くことが義務付けられるに伴い、担当職員として動物愛護管理員（獣医師）を置く。 6月1日から施行

### ○令和元年度3月補正予算

補正予算額	一般会計	15億8,000万円減
	特別会計	4億4,190万円減
	病院会計	5,000万円増
補正後予算額		1,864億9,523万3,000円

### ○令和2年度当初予算

一般会計	1,056億円
特別会計	563億 900万円
病院会計	123億8,500万円
公共下水道会計	108億2,000万円
総 額	1,851億1,400万円 (対前年度比5.1%増)

## 新保健センター完成

2月16日、4月1日開所の新しい「越谷市保健センター」の竣工式典が挙行されました。これまでの東大沢から東越谷の越谷市保健所の敷地内に移転し、市立病院とも連携して、地域の保健医療拠点の役割を果たしていくことになります。

私は平成27年の5期目の市議会議員選挙時に、保健・医療・福祉の連携強化のメディカル拠点づくりの取り組みをお約束しました。

また、新保健センターは「越谷市立看護専門学校」の跡地に建設されたことを後世に残すための記念碑の設置と、通行等に支障のない程度の桜の木の保存を要望し、実現いたしました。

保健センターは、市民が健康で安心して暮らせるまちづくりのために欠かせない施設として期待が高まります。今後とも私のライフワークの一つである、保健・医療・福祉のさらなる拡充に全力で取り組んでまいります。

▼新越谷市保健センター



◀越谷市立看護専門学校記念碑を設置（敷地南側角）

# ごとう孝江の一般質問

## 令和元年 12月定例議会

令和元年12月11日、私、ごとう孝江は6項目について市長、教育長に方針や見解を質しました。その要旨をご報告いたします。

### I. 令和2年度当初予算編成について

問 第4次総合振興計画最終年度における当初予算編成の基本的な考えは。

答 令和2年度は「第4次総合振興計画」の総仕上げの年度にあたる。経営感覚・コスト意識を持ち、「選択と集中」で限られた財源の効率的・効果的な配分と、予算の重点化を進め、各事業の着実な推進を図る。また、将来を見据え、令和3年度からの「第5次総合振興計画」へと引き継げる当初予算編成に努める。

### II. 防災訓練について

問 大規模災害に備えた実践的な小学校単位の訓練の検討は。

答 小中学校を単位として避難所運営に当たる自主防災組織を割り振るなど自主性を高め、平時からその避難所の開設手順を取得するための訓練を行うことが有効と考える。また、周辺の自主防災組織の代表者や施設管理者の意見を踏まえつつ、避難所開設キットの作成を進め、今後の総合防災訓練等での活用を検討する。

※中央中学校を避難所とする地区をモデル地区として取り掛かった。令和2年度の総合防災訓練は越ヶ谷地区を予定。

問 ○避難所運営について

○防災訓練における小中学生の関わり方と今後について

令和元年12月桜井地区合同総合防災訓練



移動式クレーン体験

◀避難所開設訓練 仮設トイレ組立班

### III. 各地の特産品等を通じた「つながる」取り組みについて

問 東日本大震災の復興応援と震災の教訓を忘れないためにも観光物産拠点施設「ガーヤちゃんの蔵屋敷」を活用した、被災地の特産品等の販売は。

答 東日本大震災の風化と風評が懸念される状況下、被災地の置かれている課題や必要とされる支援も変化している。「ガーヤちゃんの蔵屋敷」での被災地の特産品等の販売は、地域の魅力を発信し、関係者と「つながる」視点で情報を収集し、被災地の事業者に働きかけていく。

※早速、3月7日から22日まで「東北フェア」が開催された。（4ページ参照）

問 ○新たな名物づくりについて

### IV. 認知症対策について

問 今後の認知症診断を受けられる体制づくりと事故救済制度の検討は。

答 平成31年1月現在、「もの忘れ相談」実施医療機関が31か所、認知症専門外来を有する医療機関が5か所あり、認知症支援ガイドブックに掲載し、案内している。今後も越谷市医師会をはじめ関係機関との協力を踏まえ、体制の拡充に努める。

事故救済支援については、行政の関与すべき範囲の検討や、財源の確保など、国や県の支援も必要である。まずは、地域の見守り体制の充実・強化など事故の未然防止に努め、賠償支援については国や先進自治体の動向を注視していく。

### V. 医療費の適正化の取り組みについて

問 ○レセプトデータを活用した健康保健事業の取り組みについて

○適正服薬とジェネリック医薬品普及促進の取り組みについて

### VI. 児童・生徒の安心安全な生活に向けて

問 ○情報モラル教育の推進について